

2021年6月25日

各位

H2株式会社

A I 搭載型の健康管理アプリ&プラットフォーム、 ノボペン® 6及びノボペン エコー® プラス (スマートインスリンペン) との連携開発をスタート

H2株式会社（本社：東京都台東区、社長：エド・デン）は、ノボ ノルディスク ファーマ株式会社（代表取締役社長：オーレ ムルスコウ ベック、本社：東京都千代田区）が厚生労働省より医療機器製造販売承認を取得した、ノボペン® 6、ノボペン エコー® プラス（スマートインスリンペン）との連携機能の開発をスタートさせましたことをお知らせいたします。

【本件のポイント】

当社の慢性疾患などに関連した生活習慣改善アプリ・シンクヘルスの連携機器にノボペン® 6、ノボペン エコー® プラス（スマートインスリンペン）を追加するため現在開発を進めております。ノボペン® 6、ノボペン エコー® プラス（スマートインスリンペン）に記録されるインスリン投与量及び投与時間のデータがシンクヘルス内に無線転送が可能です。

今まで可視化されていなかったインスリン注入器に記録されたデータがアプリで可視化され、H2株式会社が開発したシンクヘルスプラットフォームを利用している医療機関にお勤めの、医療従事者にクラウドで共有できることで、患者の投与量が見える化され投与の細かい調整が可能となり、糖尿病治療における血糖コントロールの正確性の向上にお役立ていただける可能性があります。

【サービスの画面例】



クラウドを経由して医療機関とつながり、情報がリアルタイムで共有

【今後の展望】

私たちはこの機能を患者さん・医療従事者にご利用いただくことで、患者さんがアプリ上でインスリンの単位数を把握し、血糖値の動きとの関係性をより深く理解することをサポートし、そのデータを診療に活かしていただきたいと考えております。そして引き続き、糖尿病患者さんと医療従事者にお役立ていただけるサービスをリリースできるよう取り組んでまいります。

連絡先：H2株式会社 広報担当：宮田 亘造 TEL:03-6284-2292 Mail:kmiyata@health2sync.com

【シンクヘルスアプリの機能】

血糖値、血圧、運動、食事など日常生活の計測データを入力し、履歴や動向をグラフで確認したり、自己分析ができるアプリです。AIを搭載し記録されたデータに基づき、利用者へ定期的にメッセージを配信したり、翌月のHbA1c値を過去の入力データを元に推測したり、利用者の健康増進を継続させるモチベーションにつながっています。そして国内では17万件、世界では64万件のユーザー登録があります。

画面例



記録した数値がグラフになりわかりやすい 記録を基にAIからコメント 仲間機能や漫画など楽しめる機能付き

【シンクヘルス・プラットフォームについて】

医療従事者は、利用者がアプリに入力したデータと遠隔で繋がることが可能です。血糖値の推移や注射薬のタイミング、単位数などのデータが記録管理され、それらのデータを併せて確認することができます。さらに食事や運動、服薬状況などの把握も可能です。

またチャット機能を活用し、健康管理者側より蓄積されたデータに基づいたアドバイスもでき、その結果アドバイスの質の向上や、健康管理行動の維持・向上が期待できます。

| 日付 | 起床/朝食 | 昼食 |
|-----------|---|--|
| 10/06 (火) | カレーパン 1 (1個) 37 gの炭水化物 / 384 kcal 血糖値 135 → 230 |  梅のど飴 1 (1粒) とんかつ 1 (1枚) ご飯 1 (1サ... アーモンドチョコ... 2 (1粒) 卵 1 単位 85 gの炭水化物 / 863.1 kcal 血糖値 +5 135 → 140 |

共有データ例(利用者の食事内容と血糖値を、管理者側でいつでもオンラインで確認できる)

ご留意事項：

シンクヘルス、及びシンクヘルス・プラットフォームはノボ ノルディスク ファーマ株式会社で開発、評価、承認されておらず、ノボペン[®] 6、ノボペン エコー[®] プラスで使用するための互換性はノボ ノルディスク ファーマ株式会社によって評価されていません。H2株式会社はシンクヘルス、及びシンクヘルス・プラットフォームの開発元であり、シンクヘルス、及びシンクヘルス・プラットフォームの使用目的に対する安全性とパフォーマンスの責任を負います。ノボ ノルディスク ファーマ株式会社はシンクヘルス、及びシンクヘルス・プラットフォームのコンテンツ、使用、またシンクヘルス、シンクヘルス・プラットフォームより得たデータの正確性について一切責任を負いません。

H2株式会社の会社概要

『医療場面においてITを駆使し、一人一人がより健康でいられる世界の実現』のもと、2013年6月に台湾で創業、2018年2月より日本に本格進出し、マレーシア、シンガポール、フィリピンにもビジネスを展開しています。

主には健康生活サポートアプリ(シンクヘルス)と、そのアプリにあるデータを診療に活用できる、クラウドサービス(シンクヘルス・プラットフォーム)を展開しています。さらに2019年12月より、SOMPOひまわり生命保険株式会社とともに、当社のアプリと連携した糖尿病患者向け保険を提供スタートしました

所在地：東京都台東区上野3-2-2 アイオス秋葉原604号室

TEL：03-6284-2292

URL：<https://www.health2sync.com/ja>

株主：SOMPOホールディングスなど

取引先：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社、SOMPOひまわり生命保険株式会社など

主なメディア掲載歴

台湾発、糖尿病管理アプリにビデオ通話機能(日本経済新聞)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODZ23BH60T21C20A2000000/>

大京アステージ、地域薬局と連携したAI搭載型健康管理アプリを試験導入(Yahooニュース・CNET Japan提供)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f3294cba21a75db4742a355bd5ca70c53820328e>

シンクヘルスアプリの画面（以下のQRコードよりダウンロード可能）

